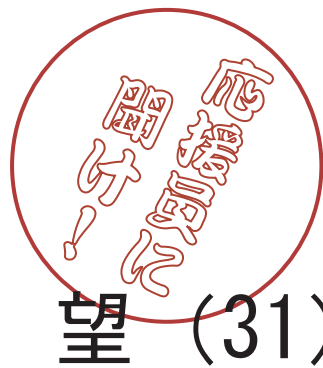


成功店の請負人 . . . !



平成16年度登録

ダイユー応援員 リーダー

中井 望 (31)



★パン屋になろうとしたのは

25歳のときまで、電気機器関係のサラリーマンをしていました。朝早い通勤、夜遅い帰宅、会社での歯車。今までの自分の人生を振り返った時、今まで自分が身に着けた「これだ!」というものが無かったことに気がきました。

そして結婚式が近づいたある日、これから家庭を持つ自分にとって、何が必要か一晩考えました。そんなある日、街を歩いてとき、一軒のパン屋さんに入りました。「これだ!」と感じました。もともと食べることに興味はありましたから、作り手になってみたらどうか?と真剣に悩みました。色々な方と相談し、パン屋という職業の楽しさを聞き、いつの間にかパン屋の社員応募広告を握って、駆け込んでいました(笑)。

自分の「技術」という自信を持ちたかったのでしょうね。

★楽しいと感じるのは?

楽しいと感じること。やはりパンを作っているときが一番楽しいですかね。黙々とできるときが。(笑)、ただ最近は変わってきました。みんなで作ったパンが美味しく綺麗に焼きあがったときが、一番楽しいと感じます。さらにそのパンを作ったみんなの笑顔を見たとき、楽しいと感じます。自分の指導がみなさんのお役に立っていると感じられるときが一番の応援員の喜びですね。

そしてその美味しくできたパンをみんなでお店に並べて、観察するのです。そのパンをお客様がお買い求めしていただき、外のテラスでおいしそうに食べている笑顔を見て、みんなで喜びを分かちあう。なによりの楽しさです。自分の指導でたくさん職人がその喜びを感じてくれるように日々奮闘しています。



★これからの目標

応援員の最大の目標。それは自分の店を持つことです。それはどの応援員もみな持っている夢でしょう。ただ私はそれに「地域社会に貢献するパン屋さん」というプラスした夢も持っています。

ただ店をやって成功するだけではなく、いかに地域社会に貢献できるか色々なベーカリーを見て、模索、勉強しています。例えば、地域の子供さんを迎え入れたパン教室を開いたり。地域の活性化のために自分は何ができるか?などを考えてます。ご指導するお店でもそのことを思考錯誤、挑戦する姿を目にします。やはりこれからは自分だけではなく、「いかに地域のみなさまに愛されるパン屋さんを目指すのか?」これがパン屋にとってこれからの大きな課題となるでしょうね。



★入社した経緯とは?

私が就職した千葉のパン屋でダイユーという会社を知りました。開業支援の会社ということで聞いてましたが、そのノウハウがたいへん素晴らしいと周りの方々からうわさで耳に入るようになりました。特に開業に携わる応援員という特殊部隊の凄さです。全国にも派遣しており、たくさんの地域で活躍しているという話を聞きました。

自分の夢として「独立開業」を目指していたこともあって、このままでは千葉という立地しか知らない狭い視野で夢を果たさないとけない、それで成功できるか?と悩みました。まだまだ自分は知らないことが多い。

そんな気持ちでダイユー応援員の門をたたきました。もっとたくさんの人に会いたい、たくさんの土地に行きたい、色々な機械に触れたい。視野を広げたかったというのが理由ですね。



★逆につらいこととは?

応援員というのは楽しい反面、つらい面もいっぱいあります。それはやはり家族に迷惑かけているということです。

私の子供は幼稚園の行く女の子がひとりいます。その娘にさびしい思いをたくさんさせているのがとてもつらいですね。地方への出張が多い中、電話はほぼ毎日かけて、娘の声を聞いてます。「今日は何かあったの?」「いい子にしてた?」こんな会話をしています。子供の成長というのは早いもので、長期出張から家に戻ると娘がずいぶん大きくなったと感じることもしばしば。そばにいてあげたいと思うときにいないというのは父親として正直、つらいですね。

ただ応援員という立場を考えるとお客様のパン職人も大切なわが子です。自分の娘の成長を楽しむように私が教えたパン職人たちは成長する過程を楽しんで、少しでもつらい気持ちを乗り越えるようにしています。それも気持ちの持ちようですね。

最近、家族でディズニーランドに行きました。なかなか行けなくて、念願が叶った日、家族で存分に楽しみました。

迷惑かけていることを日々反省し、それをちゃんと感謝として表すことで家族に返していくつもりです。いずれは店をやります。そのときは妻や娘にも手伝ってもらう予定です。自分の店が成功するための今の環境と理解してもらうのは、そのときかもしれませんね。

★未来の応援員にメッセージ

応援員という仕事はすべて自己管理で成り立っています。収入管理、健康管理など。しっかり自己管理できない人はこの機会に是非、身に付けてみてください。私はできていて、この環境の中では、案外できないものです。私も最初苦労しました(笑)。

あと、どうしてパン屋になったか常に考えてみてください。初心を忘れないように。自分が初めてパン屋に入った不安な気持ちを思い出してください。たくさんの先輩方々が不安な私にパン屋の楽しさを色々教えてくれました。それが私たちの今の立場ですからね。がんばってください。



★応援員の必要なことは?

まず応援員に必要なこと。ずばり「体力」です。素晴らしい技術やずばり抜けたスピード、これらやっていく中で留まることができます。しかし、持っている体力というのは個人個人違ってくる。私は以前いたお店が高い売上実績のパン屋だったので、そこで働く中で自然と体力がついていたのです。これは以前のお店の社長さんに感謝してはいけません。「ありがとうございます」

そしてもうひとつは「柔軟性」ですね。色々な地域に行けば、考え方、動き方、話し方を変えなければいけません。まず入店する際、ご指導する方々を受け入れることから始めます。そのとき相手は何を求め、何を必要とされるか?を判断する柔らかい発想も必要になります。それができなければ指導はできません。逆に締め出されます。最後に「忍耐力」ですね。



「今まで出会えた方々から学び、それを自分の力に変えています。」

